



ソデカラッパ（エビ目カラッパ科）

大きさ：甲幅 5cm 前後。

分 布：相模湾以南、伊豆諸島；東南アジア、ハワイ、南太平洋、インド洋、紅海

生息環境：アマモ場、砂底、砂礫底

生息水深：1～50m

砂底や砂泥底に生息する。岩礁域では砂混じりの転石帯などで見られ、サンゴ礁ではアマモやリュウキュウスガモの群生する砂地などでよく見られる。

体色は、生息地の環境に合わせて変異が多い。甲の前半面に大小の粒状突起が散在する。

写真の個体は、泡瀬干潟の砂州周辺のリュウキュウスガモやウミヒルモなどが自生する藻場の砂地で観察された。

私に気づくと、すぐさま、横方向に泳ぎ、砂地にもぐってしまった。

参考文献；ネイチャーガイド海の甲殻類（2000年）